

1. 件名：令和4年3月16日に発生した福島県沖地震の影響に係る面談
2. 日時：令和4年3月28日（月）15時00分～16時45分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁 原子力規制部  
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
竹内室長、澁谷企画調査官、小西係長、新井安全審査官、佐藤（匡）室長補佐、高松専門職、横山係長、塩唐松係員、久川審査係  
正岡管理官補佐、木原室長補佐、佐藤（雄）管理官補佐、大辻室長補佐、高木（薫）技術参与（テレビ会議システムによる出席）  
東京電力福島第一原子力規制事務所  
木村（通）原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）  
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー  
プロジェクトマネジメント室 担当1名（テレビ会議システムによる出席）  
福島第一原子力発電所 担当13名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社より、東京電力福島第一原子力発電所（以下「1F」という。）における令和4年3月16日に発生した福島県沖地震の影響について資料に基づき説明があった。
  - 令和4年3月16日に発生した福島県沖地震発生後の1Fの状況
  - 1号機原子炉格納容器における水位低下について
  - 令和4年3月16日に発生した福島県沖地震における地震観測記録について
  - タンクの位置ずれについて
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、主に以下のコメント等を伝えた。
  - 令和4年3月16日に発生した福島県沖地震の影響について今回報告時点以降の現場での継続調査の内容・結果及び解析・評価の進捗状況や今後の対応方針等について説明すること。
  - 上記指摘については、次回の特定期間原子力施設監視・評価検討会において、検討会当日時点までの現場調査の内容・結果及び解析・評価の状況、それらの今後の計画等についてとりまとめて説明すること。
  - 運用補助共用建屋キャスク搬出入エリア天井クレーンの走行ギアカップリングの破損に関し、現場調査内容や1Fの廃炉工程全体への影響等含めた対策と工程について個別の面談で説明すること。

#### 6. その他

資料：

- 3月16日地震発生後の福島第一原子力発電所の状況について

以上